

功労者部門：中間 幸敏（なかま ゆきとし）氏 （南九州市）

経 歴



昭和 57 年 古殿むらづくり実行委員会発起人メンバーの一員で、のちに会長に就任
平成 8 年 川辺町議会議長に就任
平成 17 年 農事組合法人どんどんファーム古殿の代表理事に就任
平成 19 年 南薩農業共済組合理事に就任
平成 25 年 南薩農業共済組合組合長に就任
平成 29 年 鹿児島県農業共済組合連合会会長に就任

これまでの功績の概要

・平成 5 年に県の新・農村振興運動の重点地区に指定され、“地域の農地と農業は自分たちで守る”という理念のもと、機械の共同利用、農作業受託、耕作放棄地対策などの取組を先頭に立ち実践し、平成 8 年の「古殿機械利用組合」設立に寄与した。

・平成 17 年には、県内初の集落型農業生産法人「農事組合法人どんどんファーム古殿」を設立、平成 19 年には、高齢女性が中心となった農作業を補完するグループ「若葉会」と地場農産物を活用した商品開発や加工販売を行う女性グループ「どんどんプリティ」を発足させた。

・平成 28 年には、6 次産業化への取組として、地元農産物を加工し、うどんやそばなどを販売する食堂「であえーる どんどん亭」の開設に尽力する。地域内外の拠点施設として住民の憩いの場の確保や地域高齢者へ低価格の惣菜や弁当などが提供されるなど地域福祉の向上にも貢献している。

・「地域住民参加型の農業経営と地域への還元」、「機械の共同利用によるコスト低減」を実現させ、集落ぐるみで地域農業を支えるためのシステムを作り上げ、現在も、むらづくりのリーダーとして地区の話し合い活動や合意形成に中心的立場として携わり、地区内の農村づくり運動の実践活動推進に大きく寄与されている。

<活動状況>



経験豊富なオペレーターによる作業



若葉会による作業状況



「であえーる どんどん亭」と「どんどんプリティ」の皆さん